### sendmail

入力されたレコードをメールとして送信します。sendmailコマンドは、入力があると即座にメールキューへ格納し、メールを非同期で配信します。このコマンドを実行するには管理者権限が必要であり、システム設定メニューでメールサーバーが設定されている必要があります。

#### 構文

sendmail [html=BOOL]

パラメータ

**html=BOOL**

**message**フィールドの内容をHTML形式として処理するかどうかを指定します（デフォルト: f）。

* t: **message**フィールドに記載された内容をHTML形式として解釈し、メール本文を構成します。たとえば、<h1>Hello</h1>は見出しとして表示されます。
* f: **message**フィールドに記載された内容をプレーンテキストとして処理します。HTMLタグはそのまま表示されます。

#### 説明

入力フィールド

このコマンドは、以下のフィールドを入力として受け取ります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 名称 | 説明 |
| to | 文字列 | 宛先メールアドレス | カンマ（,）区切りのメールアドレスリスト |
| cc | 文字列 | CCメールアドレス | カンマ（,）区切りのCCメールアドレスリスト |
| bcc | 文字列 | BCCメールアドレス | カンマ（,）区切りのBCCメールアドレスリスト |
| subject | 文字列 | メール件名 | メールの件名 |
| message | 文字列 | メール本文 | メールの本文 |

出力フィールド

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 名称 | 説明 |
| \_sendmail\_fail | 文字列 | エラーメッセージ | 入力フィールドの不足、不正なメールアドレスなどによるエラー内容 |

**\_sendmail\_fail**フィールドには、SMTP設定の不足によるエラーは表示されません。

ログプレッソ・ソナーシェルでは、logpresso.mailQueueコマンドで現在キューにある送信待ちメールの一覧を確認でき、logpresso.clearMailQueueコマンドで一括削除が可能です。

#### 使用例

json "{}"| eval to="example\_1@example.com, example\_2@example.com", bcc="example\_3@example.com", cc="example\_4@example.com", subject="Hello World", message="<h1>Hello, World</h1>"| sendmail html=t

#### 互換性

htmlオプションはENT-3.10.2004.0バージョン以降で利用可能です。